

学年通信

『なかま』

四日市市立三滝中学校
第2学年 第25号
2022.02.10

2月も中旬に入ります。立春が過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いております。感染症対策には、いまだ気を抜けない状況です。マスクの着用だけでなく、教室(特別教室や体育館など)に入る前後の手洗いや手指消毒、距離を開けたり密を避けたりする工夫などを、続けてください。

右の写真は、ある生徒に届いた、お礼の絵手紙です。2学期を中心に、色紙の取り組みをしました。美術の時間を中心に、三滝中校区に住む高齢の方へ宛てた色紙です。地域の方は毎年楽しみにしていて、取り組みの中心となっている福祉委員の人は、いつも感謝されています。



この手紙を送ってくれた方も、「色紙絵手紙ありがとうございました」と丁寧にお手紙を書いてきてくれました。こういうやり取りがあると、この取り組みがとても大切なものであると感じられますよね。皆さんは、来年にもう一回取り組むことになります。玄関などに飾ってある他の人の作品も見ながら、来年どうしようか、考えてみてくださいね。

確認(実力)テストを返却しました。

昨年度までの1, 2年生の実力テストは、3年生で実施する実力テストに代わって、基本的な問題だけではなく、ある程度発展的な内容も含んだテストを実施していました。今年度からは、『確認テスト』という扱いとして、宿題となっている範囲(i プリなどが中心)の内容が理解できているかどうか、定着しているかどうかを問う問題となります。要するに、キチンと学習してきた人は、点数の取れる問題となっています。したがって、休みの間に出された宿題を「提出したかどうか」で評価するのではなく、「理解できるように(定着するように)学習してきたかどうか」で評価するようにしています。

今までとは扱いが違っているので、戸惑う人がいるかもしれませんが、生徒の皆さんには、何度も繰り返し伝えてきましたね。これが、本来の学習なのだと思います。i プリを中心とした内容は、学習のかなり基本の部分です。この内容を理解している人は、別の発展的な内容の問題にチャレンジしていったらいいでしょう。逆にi プリの内容に不安のある人は、この範囲から繰り返し学習を進めてみてください。



さて、テスト結果をよく見てみましょう。いわゆるケアレスミス(わかっていたのに、ちょっと違う答えを書いちゃった)であれば、ミスを減らしていけばいいですが、覚えていなかったところ、理解していなかったところはありませんか? 今回のテストで理解できていないところは、早急に理解できるように、取り組んでみましょう。来週はよいよ、テスト発表です。今回は2年生で初めて、9教科でのテスト。さらにテスト範囲も、かなり広い(2学期期末テストから学年末テストまでの期間が長い)です。3連休の部活動も休みになった今だからこそ、前向きに準備をしていきましょう。



ちなみに3年生で実施する予定の実力テストは、例年4回です。このテストは、受験に向けて取り組むものですので、発展的な内容も含まれます。学校で作るテストとは違い、初めて見るような問題も含まれるでしょう。このテストは一部を除いて成績には入りません(教科によりますが)、進路指導をする上での重要な資料になります。このテストに向けて始めたのが、セミナー学習。毎日コツコツ取り組むことで、必ず「力」がついてきます。

ここでいう「力」とは、続けて学習する力です。内容の理解はもちろんですが、学習する習慣こそ、今は必要です。「ちょっとしんどいな」とか「今日は〇〇していたから、明日やろう」なんて理由をつけて、学習から意識を遠ざけていませんか? 気持ちはわかりますが、習慣にするためには、まずは続けることです。先生たちも精一杯サポートします。頑張ってくださいね。

今回の通信は、かなり文章が長くなってしまいました。保護者の方とも一緒に結果を確認し、自分に必要なことが何かをよく考えてくださいね。応援しています♪